

活動主題 「衣服を大切にできるようになる」**活動の価値**

私たちの生活には衣服が欠かせない。人間は一生、衣服によって身体を守り、社会生活を送っているからである。身体を保護する役割を考えれば、素材の吟味は欠かせないし、汚れを除去する洗濯は毎日のように行う必要がある。そして、役割を終えた衣服は廃棄される。近年、日本での衣服の廃棄物は年間50万tを超え、問題となっている。衣服を現在よりも1年長く着ることで、日本全体として4万t以上の廃棄量の削減になる。つまり、衣服を大切にすることは、健康・快適に衣服を着用するだけではなく、環境への配慮にもつながる。そのためには、衣服の素材にあった手入れの仕方や補修の技能を身につけることが大切である。しかし、近年「ファストファッション」が問題視され、多くの人が安さゆえに手軽に購入し、躊躇なく廃棄し、ある程度流行を取り入れた服装をするようになった。このことが、まだ着ることのできる衣服の廃棄につながっている。さらには、消費者として、素材への関心や衣服を大切に、長く着続ける意識が薄れていく。そのため、衣生活に関する行動を見直すことは、持続可能な社会をつくりあげていくことにつながる。

本活動は「衣服を大切にできるようになる」を活動主題とし、どのように衣服と付き合っていくのかを探究する活動である。この活動を通して子どもは、衣服の状態及び繊維の特徴と手入れや補修の仕方との関係を見いだし理解し、そのための技能を身につけることができる。また、製造過程について考えることは、持続可能な社会の担い手として、資源や環境について配慮することができるようになり、衣服を大切にしている行動につながることから大変意義のある活動である。

子どもの実態

本学級の子ども（〇名）に行った事前調査によると、「制服が汚れた場合はどうしますか」という質問に対して、〇名が「洗う」、〇名が「クリーニングにだす」と回答した。その際、「自分で手入れをしますか」という質問に対して、「自分でする」〇名、「ときどき自分でする」〇名、「全く自分でしない」〇名であった。また、「ボタンが外れた場合どうしますか」という質問に対して、「自分で行う」〇名、「他の人に行ってもらおう」〇名であった。他の人に行ってもらおう理由としては「きれいにできないから」「全くできないから」などが挙げられた。次に、「知っている素材を挙げてください」という質問に対して、「綿」「ポリエステル」「絹」「麻」「ナイロン」が挙げられたが、特徴については理解できていなかった。さらに、「制服を洗うのに適した洗剤はどれですか」という問題に対して、正しい方法を選ぶことができたのは〇名であった。なお、制服の素材まで言及して理由を解答できた子どもはいなかった。最後に、「卒業したら、制服はどうしますか」という質問に対して、「保管する」〇名、「譲る」〇名、「捨てる」〇名、「未定」〇名であった。

以上のことから、日頃から衣服の手入れや補修を行う機会はあるものの自分で行っていない子どもが多く、十分に知識や技能が身につけているとはいえない。また、繊維の特徴や手入れの仕方について根拠をもって生活をしている子どもは少なく、衣服の着用、手入れ、廃棄までの全過程を意識して生活している子どもはほとんどいないことが分かった。したがって、実践的・体験的活動を通して、根拠をもって衣服の手入れや補修を行うことができるように援助していく必要がある。

活動の援助観

そこで本活動では、衣生活における問題を見いだし課題を設定し、衣服の材料に応じた手入れや衣服の状態に応じた補修ができるようにするとともに、生活の中から新たな問題を見いだすことができるようにする。そのために、次のような援助を行う。

- ・衣生活における問題を見いだし課題を設定することができるように、「制服の一生すごろく」を行う場を設定する。
- ・衣服の材料に応じた手入れができるように、様々な繊維の特徴を調べる実験を行う場を設定する。
- ・衣服の状態に応じた補修ができるように、目的と材料に適した補修の方法について考え、ボタンつけやまつり縫いを行う場を設定する。
- ・生活の中から新たな問題を見いだすことができるように、製造過程の余り布や衣服の廃棄の問題について調べる場を設定する。

○ 子どもの学習目標

衣服の材料に応じた手入れや衣服の状態に応じた補修を行うことができる。

○ 教師の援助目標

衣生活における問題を見いだして課題を設定し、衣服の材料に応じた手入れや衣服の状態に応じた補修ができるようにするとともに、生活の中から新たな問題を見いだすことができるようにする。

活動計画（6時間）

次	時	学習活動・内容	子どもの問いと思考	援助のねらい・内容・方法
一	1 ①	1 衣服の成り立ちから廃棄までの過程を考える。 (1) 「制服の一生すごろく」を行う。 ・製造→着用 ・手入れ→処分 (2) 学習課題を設定する。 学習課題 衣服とどのように付き合っていくのか探ろう。	なんで「衣服の一生」でこんなにも二酸化炭素が出るのだろうか。 自分の行動で環境に与える影響はたくさんありそうだな。減らす方法を探っていく必要があるな。	衣生活における問題を見いだして課題を設定し、解決の見通しを持つことができるようにする。 ・衣生活における問題を見いだして課題を設定することができるように、「制服の一生すごろく」を行う場を設定する。 ・衣生活における問題について課題解決の見通しを持つことができるように、疑問を明確にし、学習課題を設定する場を設定する。
	2 ②	2 衣服の材料や手入れの仕方について考える。 (1) 自分のお気に入りの日常着の表示について調べる。 ・取り扱い表示 ・組成表示 (2) 様々な繊維の特徴を調べる実験を行う。 ・吸水性 ・燃焼性 ・収縮性 ・防しわ性	衣服をどのように扱っていくとよいのだろうか。 繊維の違いにあわせて、衣服の手入れをしていく必要があるな。	衣服の材料に応じた手入れや衣服の状態に応じた補修ができるようにする ・衣服の手入れができるように、日常着の表示について調べて、比較する場を設定する。 ・衣服の材料に応じた手入れができるように、様々な繊維の特徴を調べる実験を行う場を設定する。
二	2 ②	3 衣服の状態に応じた補修の仕方について考える。 (1) 目的と材料に適した方法について考える。 ・裾上げ ・ほつれ (2) 衣服の補修を行う。 ・ボタンつけ ・まつり縫い	他に自分でできることはないだろうか。 衣服の状態や繊維に応じて手入れをすることで長く着られることがわかったぞ。	・衣服の状態に応じた補修の必要性について気づくことができるように、目的と材料に適した方法について考える場を設定する。 ・衣服の状態に応じた補修ができるように、ボタンつけやまつり縫いを行う場を設定する。
	3 ①	4 製造過程の余り布や衣服の廃棄について考える。 (1) 本活動を振り返る。 ・手入れや補修を行い、衣服を大切にすること。 (2) 製造過程の余り布や衣服の廃棄の問題について調べる。 ・持続可能な衣生活	衣服の一生で他に問題はないかな。 衣服を大切にすることが「衣服の一生」で二酸化炭素を減らすことにつながるということが分かったぞ。他にも課題がありそうだな。	生活の中から新たな問題を見いだすことができるようにする。 ・これからの生活を展望できるように活動を振り返る場を設定する。 ・生活の中から新たな問題を見いだすことができるように、製造過程の余り布や衣服の廃棄の問題について調べる場を設定する。

本時
2 / 2

本時 公開授業1 調理室 第二次の1時(2/2)

本時の援助観

前時までには子どもは、衣生活における問題を見いだして課題を設定し、衣服の適切な手入れを行うためには、衣服の様々な表示を見て手入れを行う必要があることについて学んでいる。その際、衣服の種類によって手入れの仕方が違うのはなぜかという疑問をもった。そこで本時では、衣服の材料に応じた手入れを行う必要性を理解し、生活の中で実践しようとする意欲を高めることができるようにする。そのために、実験を通して4種類の布について調べ、繊維の特徴について科学的に考える活動を設定する。

主眼

衣服の材料に応じた着用や手入れを行う必要性を理解し、生活の中で実践しようとする意欲を高めることができるようにする。

本時の過程

学習活動・内容	援助のねらい・内容・方法	形態	配時
<p>1 本時の学習について考える。</p> <p>(1) 衣服の種類による取り扱い表示の違いについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り扱い表示 <p>(2) めあてを設定する。</p> <p>実験を通して、繊維の特徴について解き明かしていこう。</p>	<p>本時の見通しを持つことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の疑問を確認し、本時の問いを明確にすることができるように、衣服の種類による取り扱い表示の違いについて考える場を設定する。 ・本時の見通しを持つことができるように、めあてを設定する場を設定する。 	一斉	7
<p>2 様々な繊維の特徴を調べる実験を行う。</p> <p>(1) 4種類の布の実験方法や注意点について確認をする。</p> <p>A：綿100% B：ポリエステル100% C：毛100% D：ナイロン100%</p> <p>(2) 繊維の特徴を調べる実験を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吸水性 ・燃焼性 ・収縮性 ・防しわ性 <p>(3) 実験結果を基に、4種類の布がどの繊維からできているのか推論する。</p> <p>A：吸水性が高い。しわになりやすい。 B：縮まない。しわになりにくい。 C：毛玉になりやすい。縮みやすい。 D：熱に弱い。燃えやすい。</p>	<p>衣服の材料に応じた着用や手入れを行う必要性を理解することができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全に実験を行うことができるように、4種類の布の実験方法や注意点について確認をする場を設定する。 ・繊維の特徴の違いについて理解することができるように、様々な繊維の特徴を調べる実験を行う場を設定する。 ・実験結果を分析して解釈することができるように、4種類の布がどの繊維からできているのか推論する場を設定する。 ・衣服の材料に応じた着用や手入れを行う必要性を理解することができるように、全体で考察を共有する場を設定する。 	個／小集団／学級集団	35
<p>3 本時学習を振り返る。</p> <p>(1) 繊維の特徴と衣服の手入れの仕方について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繊維の種類によって特徴が違うので、衣服の材料に応じて手入れを行うことが大切である。 <p>(2) 本時学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかったこと。 ・これからの生活にどう生かすのか。 ・疑問に思ったこと。 	<p>生活の中で実践しようとする意欲を高めることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で実践しようとする意欲を高めることができるように、繊維の特徴と衣服の手入れの仕方について確認し、本時学習を振り返る場を設定する。 	学級集団／個	8

活動の評価

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・衣服の繊維の特徴について理解し、適切な着用や手入れができる。 ・衣服の状態に応じた衣服の補修の仕方について理解しているとともに、適切な補修ができる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活における問題を見いだして課題を設定している。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・衣生活における課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・衣生活における課題解決に向けた一連の活動を振り返り、これからの生活に生かせるように改善しようとしている。

※ 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 態：主体的に学習に取り組む態度

次	時	学習活動	評価規準（観点：方法）	指導の個別化（手だて）
一	1 ①	1 衣服の成り立ちから廃棄までの過程を考える。 (1) 「制服の一生すごろく」を行う。 (2) 学習課題を設定する。 学習課題 衣服とどのように付き合っていくのか探ろう。	衣生活における問題を見いだして課題を設定している。 (思：学習プリント)	事前アンケートの分析を行い、すごろくのマスの意味を個別に問う。 制服の一生すごろくを行ったあとに「これからの生活と関係する場面は、何か」と問う。
	二	1 ②	2 衣服の材料や手入れの仕方について考える。 (1) 自分のお気に入りの衣服の表示について調べる。 (2) 様々な繊維の特徴を調べる実験を行う。	衣生活における課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 (態：学習プリント)
2 ②		3 衣服の状態に応じた補修の仕方について考える。 (1) 目的と材料に適した方法について考える。 (2) 衣服の補修を行う。	衣服の繊維の特徴について理解し、適切な着用や手入れができる。 (知：学習プリント)	4種類の繊維の結果を比較し、考えられることを問答する。必要に応じて、映像を確認するように促す。
		4 製造過程の余り布や衣服の廃棄について考える。 (1) 本活動を振り返る。 (2) 製造過程の余り布や衣服の廃棄の問題について調べる。	衣服の状態に応じた衣服の補修の仕方について理解しているとともに、適切な補修ができる。 (知：練習セット)	縫う順番の印を布につけるとともに、つまずいた場面を動画で確認するように促す。
三	1 ①	4 製造過程の余り布や衣服の廃棄について考える。 (1) 本活動を振り返る。 (2) 製造過程の余り布や衣服の廃棄の問題について調べる。	衣生活における課題解決に向けた一連の活動を振り返り、これからの生活に生かせるように改善しようとしている。 (態：学習プリント)	これからの生活で実践することができるよう、生活経験に応じて個別に助言する。